

目次

特別寄稿

- サクラマス¹の生活史パラメータの推定と資源回復、保全をめざした
今後の方向 大熊一正 3

研究成果情報

- サケ稚魚の原虫病を予防する 水野伸也・浦和茂彦 10
サケ稚魚の降海行動が活発になるとき 長谷川功・ほか 14
成長が速いサケ幼稚魚は生き残りやすい 本多健太郎 20

技術情報

- サケの給餌率に関する検討 箕輪ゆい・ほか 23
コラム：サケのふ化放流事業における給餌率について 福澤博明 26
尻別川支流昆布川のサクラマス遡上状況調査 外山義典・洞内哲雄 27

会議報告

- さけます関係研究開発等推進会議 研究部会 福若雅章・佐藤俊平 30
さけます報告会 阿部邦夫 32
第26回北太平洋溯河性魚類委員会 (NPAFC) 年次会議の概要 佐藤俊平 35

トピックス

- ギジュ川・トゥムニン川 (ロシア) 訪問記 長谷川功・ほか 38
ベーリング海夏季さけます資源生態調査航海 上田周典 44
国際サーモン年が始まります 鈴木健吾・ほか 48

さけます情報

- サケ科魚類のプロファイル-17 レイクトラウト 山本祥一郎 51
北太平洋と日本におけるさけます類の資源と増殖 江連睦子 54
さけます人工孵化放流に関する古文書の紹介 (5)
開拓使文書等に見られる伊藤一隆に係る文書 野川秀樹 56
コラム：開拓使の新潟県三面川視察報告書 野川秀樹 60

mini column

千歳川の上流域では、毎年お正月頃に自然産卵するサケの大群が見られます。これらは人工ふ化放流された放流魚ではなく、自然産卵によって生まれた「野生魚」です。以前はふ化場から放流されたサケが遅れて回帰してきたものだと考えられていましたが、近年の耳石温度標識の分析によって、これらは自然産卵由来の野生魚であることが分かってきました。厳冬期に産卵するサケ個体群は、昔は西別川など他の河川でも見られましたが、現在でも知られているのは千歳川だけであり、とても貴重なサケの野生個体群なのです。

